

# 「あつたらいいな」を実現する 紙書類抜き差し自由自在な ファイル『NOUQUE』

キョーワハーツ

キョーワハーツ(横浜市港北区高田西、坂本悟社長、045・593・6116、<http://www.kyowa-hearts.com/>)は、金属プレス加工、金型製作を手がけ、創業以来65年にわたり培って来た技術力を駆使し、3年がかりで「抜き差し自在なファイル」NOUQUE(ヌーケ <http://nouque.jp/>)を開発した。今年7月6日には、テレビ東京ワールドビジネスサテライト「トレンドたまご」でも取り上げられ、世界初の革新的な書類収納方式と注目を浴びている。

同製品は、紙を留める部分(綴じ具)が従来方式と大きく異なる。従来の2穴ファイルが、丸い「綴じ足」(パイプまたはパイプの中に入る棒)を紙に開けられた丸穴に差し込むのに対し、この製品は平らな「綴じ足」がレバー操作で90度回転する機構を持ち、穴は「溝付穴」である。そして、「綴じ足」を溝と同じ方向に向けると抜き差しができ、溝に対して直角の位置になると紙は外れないという仕組みで

ある(特許取得済)。従来方式が綴じ足を上下方向に抜き差しするのに対し、この製品は回転する「綴じ足」から紙を横方向に抜き差しする。専用穴開けパンチャーや、穴を開けずに何でも綴じることができ、アシストプレートなども揃えている。

紙書類のファイリングと出し入れに費やす時間と手間を大きく削減するのが開発のねらい。IT化の進行によって、文書管理の電子化が進んでいるとはいえ、紙で保管しなければならぬ文書は多く、日本国内においても年間2・2億冊の穴あけファイルが販売されているという。

「このファイルなら書類抜き差しの面倒な手間が従来方式より半分程度に削減されるばかりでなく、これまで他に解決策がないと諦めていた分野での利用や企業の事務部門の5Sや生産性向上に役立ててほしい」と販路の拡大をめざす。



自由自在な書類抜き差しを実現する『NOUQUE』の綴じ具